

日本歯科大学校友会

## 「女性の会」アンケート調査報告

～校友会女性歯科医師の実態調査～

「女性の会」委員会  
入会対策委員会  
入会促進委員会

歯科医師の中で女性歯科医師の占める割合が年々高くなっている。最近の歯科医師国家試験合格者数の約40パーセントが女性である。

本校友会では、本学を卒業した女性歯科医師に対して校友会への入会を促進すると共に、校友会活動に積極的に参加し活躍してもらう方法を検討するため、平成21年度に「女性の会」委員会が設置された。

「女性の会」委員会は、平成21年10月29日光安会長から下記諮問を受け、入会対策委員会と入会促進委員会の2委員会は毎回合同で委員会を開催し、協議してきた。

委員会では、女性卒業生の現状や課題、さらに校友会で活躍できる環境整備について検討した。それには女性卒業生の現状を把握する必要がある、その方法としてアンケート調査を実施することを決めた。

平成22年4月に諮問内容にある女性卒業生の生活環境等の実態を把握するアンケート調査を実施した。

その後、委員会でアンケート調査結果を分析し、今後の課題等を取りまとめたので、ここに報告する。

### [諮問事項]

#### ・入会対策委員会

校友会本部にて未だ把握できていない本学女性卒業生の顕在化が必要と思われることから、潜在している女性卒業生の実態調査の具体的手段について、答申いただきたい。

#### ・入会促進委員会

潜在している本学女性卒業生が、本校友会会員として参加していただくためにはなにが課題か。そのためには、女性卒業生の生活環境等を把握することが必要であり、同時に参加していただくための具体的手段について答申していただきたい。

## [アンケート調査報告]

校友会の中に占める女性卒業生の割合は年々増加しており、今後女性卒業生が校友会会員として参加し活躍できる環境を整えることは、本校友会の大きな課題のひとつである。

本学の女性卒業生に対して校友会への入会を促進すると共に、校友会の中で積極的に活動してもらう方法を検討するため、女性卒業生の生活環境等の実態を把握するアンケート調査を実施した。

### (1) 調査方法

まずクラス会の女性世話人に依頼して、各クラス会別の女性卒業生名簿を作成した。

その名簿を基に女性会員 275 名・未入会員(退会者)225 名、合計 500 名を対象にアンケート調査票を送付した。無記名で回答を依頼し平成 22 年 5 月 10 日を締切りとした。アンケート調査票を回収し結果を集計した。

アンケート調査の質問内容の概略は以下の項目である。

- ① あなたの年齢は
- ② 卒業回数を教えてください
- ③ 校友会の会員ですか
- ④ ご家族に現在、校友会の会員はいますか
- ⑤ いる方の続柄を教えてください
- ⑥ 未入会の方にお尋ねします、入会する予定は
- ⑦ 入会を検討する条件や改善点を教えてください
- ⑧ 入会を考えていない理由を教えてください
- ⑨ 本学に入学した理由をお聞かせください
- ⑩ 歯科医師としての仕事を定期的にされていますか
- ⑪ 就労状況をお尋ねします
- ⑫ 一週間にどの程度働かれているかお尋ねします
- ⑬ 働いていない方にお尋ねします理由を教えてください
- ⑭ 働いていない方にお尋ねします、将来仕事に復帰してもよいとお考えですか
- ⑮ 女性歯科医師としての意識をお聞かせください
- ⑯ 男性歯科医師との違いを感じたことがありますか
- ⑰ どのような違いを感じますか
- ⑱ 現在、関心のあることを教えてください
- ⑲ 現在、結婚されていますか
- ⑳ 配偶者の職業は

- ㉑ 歯科医師とお答えの方へ、職場は同じですか
- ㉒ お子様はいますか
- ㉓ 1年を超えた出産・育児休業したことがありますか
- ㉔ 現在、育児や介護などが必要な家族はいますか
- ㉕ 現在抱えている問題や不安がありますか
- ㉖ 校友会に望むことはありますか
- ㉗ 女性の会が主催するイベントや講習会に希望するテーマを教えてください
- ㉘ 女性の会の活動についてご意見をお聞かせください

## (2) 調査結果

### 調査対象

<50～66 回卒>東京校のみ各学年 10 名（会員 5 名・退会者 5 名）

<67～98 回卒>東京校・新潟校それぞれ 6 名（会員 3 名・退会者 3 名）

アンケートの調査対象者は女性会員 275 名・未入会員（退会者）225 名、合計 500 名、回答数を表 1 に示す。

表 1 調査対象者

対象者	回答数	回答率
500名	175名	35%

なお校友会会員数 9, 536 名に対し、女性会員数は 1, 447 名（15%）である。また女性未入会員（退会者）は 1, 290 名で半数近い女性卒業生が校友会を退会している。（平成 22 年 5 月 20 日現在）

### ① 回答者の年代

表 2 回答者の年代

20代	30代	40代	50代	60代以上
7名	38名	42名	38名	50名
4%	22%	24%	22%	29%

回答者の年代は、50代以上と 50代未満がおおよそ半々であった。

### ② 回答者について校友会会員と未入会員（退会者）の割合

表 3 校友会会員と未入会員の割合

会員	未入会員	不明
105名	58名	12名
60%	33%	7%

会員と未入会員では、回答率は会員の方が高かった。また不明の回答も 7% あった。

③ 回答者の家族に校友会会員がいる割合

表4 家族に校友会会員がいる割合

いる	いない
117名	58名
67%	33%

家族に校友会会員がいる割合は、いない場合の倍以上であった。

④ 家族の校友会会員の続柄

表5 家族の校友会会員の続柄

自分の親	夫	夫の親	兄弟姉妹	子ども	孫	その他
42名	56名	10名	25名	21名	0名	2名

家族の校友会会員の続柄は夫が最も多く、次いで親が多かった。

⑤ 未入会員(退会者)が入会しない理由

表6 未入会員が入会しない理由

特に必要性を感じないため	家族の中に会員がすでにいるので	今まで入会してこなかったのに、今から入会する意義が見つからない	その他
16名	32名	8名	7名

未入会員が入会しない理由としては、家族に校友会会員がいる場合が多かった。

⑥ 歯科医師として就業しているか

表7 女性歯科医師就業状況

定期	不定期	働いていない	無回答
136 (77.7%)	16 (9.1%)	22 (12.6%)	1 (0.6%)

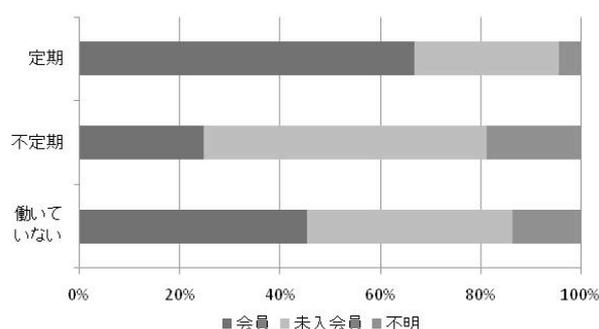


図1 就業状況と校友会会員・未入会員の割合

定期的就業している女性歯科医師は77.7%を占め、定期的就業している割合は校友会会員に高く、不定期就業している割合は未入会員に高かった。

⑦ 女性歯科医師としての意識

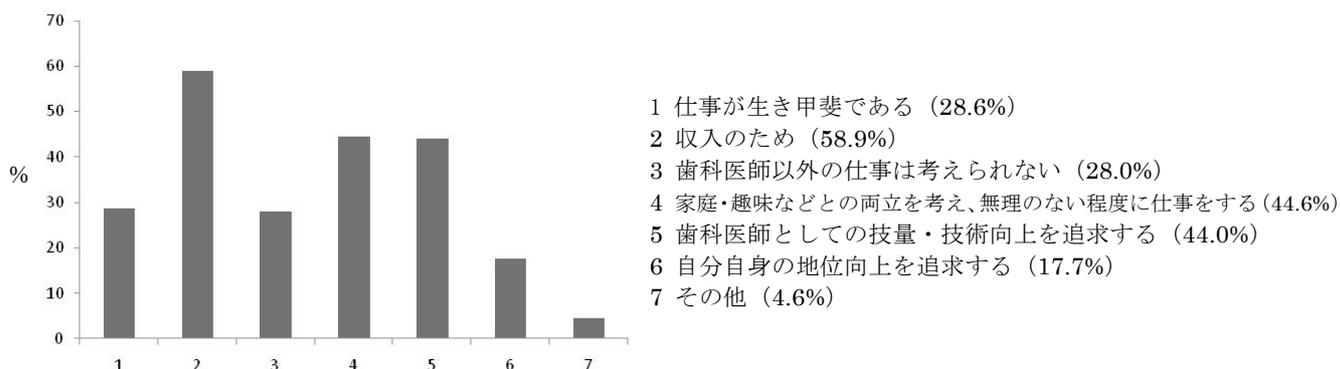


図2 女性歯科医師としての意識

女性歯科医師としての意識では、収入のたが最多で、次に家庭・趣味等との両立を考え無理のない程度に仕事をするの順であった。

⑧ 男性歯科医師との違いについて

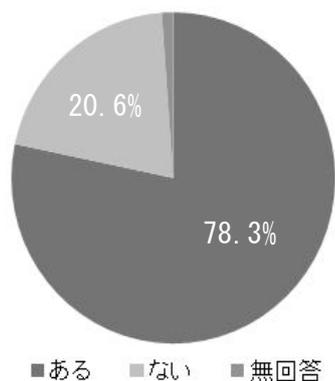


図3 男性歯科医師との違いの有無

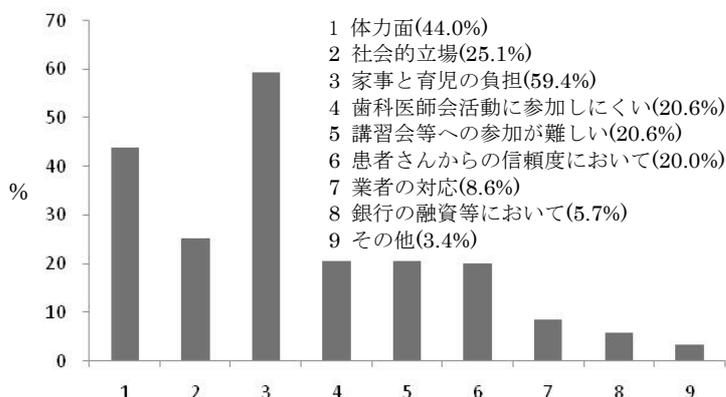


図4 男性歯科医師との違いの内容

男性歯科医師との違いを感じたことがある割合は78.3%、ないは20.6%であった。

男性歯科医師との違いの内容は、家事と育児の負担が最も多く、次いで体力面であった。

⑨ 配偶者について

表 8 配偶者の有無

はい	いいえ	無回答
116	54	5
(66.3%)	(30.9%)	(2.9%)

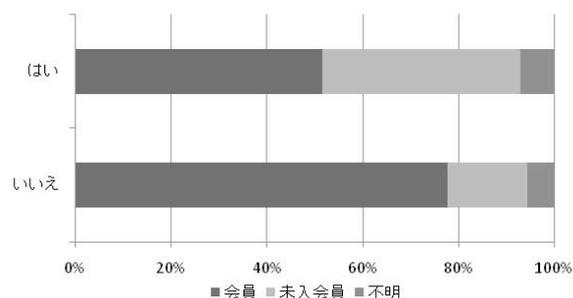


図 5 校友会会員・未入会員の配偶者

配偶者がある割合は 66.3%、ないは 30.9%であった  
配偶者がいない場合に会員の割合が高かった。

表 9 配偶者の職業

歯科医師	その他
78	38
(67.2%)	(32.8%)

配偶者の職業では歯科医師が 67.2%を占めた。

⑩ 現在抱えている問題や不安は

- (1) 老後の生活 (76 名)
- (2) 自分自身の健康 (67 名)
- (3) 医院の経営状態 (62 名)
- (4) 子供の育児・教育 (43 名)
- (5) 家族の介護 (40 名)

女性歯科医師が現在抱えている問題や不安は多岐に亘っていた。

⑪ 校友会に望むこと

校友会に望むことは下記の順に多かった。

- (1) 出産や病気の際に代診を派遣する制度を知らせて欲しい (46 名)
- (2) 会費未納で二年経過すると自動的に退会になることを知らせて欲しい (30 名)
- (3) 大学病院との連携を密に取りたい (27 名)
- (4) 大学の様子を定期的に知らせて欲しい (25 名)
- (5) 卒業試験や国家試験の状況を教えて欲しい (24 名)

## [まとめ]

今回のアンケート調査は、校友会女性会員 275 名、未入会員（退会者）225 名、合計 500 名に調査票を送付し回答を依頼した。回答数は 175 名（回答率 35%）、会員 105 名、未入会員（退会者）58 名、不明 12 名であった。

平成 22 年 5 月 20 日現在、校友会会員 9, 536 名の内、女性会員は 1, 447 名（15%）である。（日歯会員に占める女性会員の割合は 8%）

また、女性未入会員は 1, 290 名もおり、これからの校友会活動のためには増加する女性卒業生に対して、校友会への入会促進と共に校友会で活躍できる環境整備が不可欠である。

アンケート調査の結果から、入会しない理由として最も多かったのは家族に会員がいる場合で、配偶者がいる場合も未入会者が多く、配偶者の職業は歯科医師が多数を占めた。また、女性卒業生で配偶者がいない場合や定期的に就業している方に会員が多かった。

未入会者が入会を検討する条件では・会員種別を見直し、郡市区支部や都道府県の会費を下げる・校友にとって魅力のある講習会等を増やす、という回答が多かった。

**女性歯科医師としての意識では・収入のため・家庭、趣味等との両立を考え無理のない程度に仕事をする・歯科医師としての技量、技術向上を追求する、の順に高く、現在抱えている問題や不安では・老後の生活・自分自身の健康・医院の経営状態、の順であった。**

**校友会に望むことでは・出産や病気のとくに代診を派遣する制度を知らせてほしいが最も多く・会費未納で二年経過すると自動的に退会となることを、早い段階で知らせてほしい・大学病院との連携をもっと密に取りたい、の順に多かった。**

アンケート調査の結果から、校友会女性卒業生の未入会者対策として、現会員を通じて家族の中にいる未入会の女性卒業生の入会促進を図る方法が考えられる。そのためには、現在の会員種別や会費等の見直しも必要である。

また、校友会の意義や活動状況に関する情報が伝わっていない回答が多く見受けられた。今以上に入会促進のための情報提供や入会のメリットを知らせる広報活動が望まれる。

女性卒業生の未入会者対策としては、（1）入会促進の広報活動（2）入会のメリットの顕在化（3）会員種別の見直し（4）会費等の減額、等が考えられる。

以上のことから、本学の女性卒業生に対して校友会への入会を促進すると共に、校友会で活躍できる環境を整備して行くことが必要である。

(委員会開催状況)

第1回合同委員会	平成21年10月29日
第2回合同委員会	平成21年12月11日
第3回合同委員会	平成22年1月28日
第4回合同委員会	平成22年2月25日
第5回合同委員会	平成22年4月1日
第6回合同委員会	平成22年5月27日
第7回合同委員会	平成22年7月1日
第8回合同委員会	平成22年9月2日
第9回合同委員会	平成22年10月14日
第10回合同委員会	平成22年12月9日
第11回合同委員会	平成23年2月3日

(委員会構成)

・入会対策委員会

委員長	渡辺	寿満子
委員	萩原	洋子
同	松村	正子
同	藤野	由美子
同	久保	一美
同	柴田	えり子
同	矢部	浩美

・入会促進委員会

委員長	倉治	ななえ
委員	清水	久代
同	八重垣	道代
同	小野寺	美香子
同	西村	正美

(担当役員)

常務理事	鴨田	博司
同	隅田	百登子